

落書き

私たちの憩いの場であるべき公園など公共施設や交通機関で、人権を否定し、差別を広める内容の落書きや、特定の個人を中傷するような内容の落書きが発見されています。

自分のことではなくても、このような落書きを見ると、誰でも嫌な気持ちになってしまうのではないのでしょうか。

人の行き交う場所に書かれた言葉は、不特定な人たちの目に触れ、ひとりでも広まっていきます。その中には、差別する意識など全くなかった人に、その意識を植え付けてしまうことに繋がることがあります。

差別落書きは、人の心を傷つける行為であり、決して許されるものではありません。この認識を広げ、私たち市民の共通理解として深めていくことが大切だと思います。

誰もが安心して暮らせる、人に優しいまち、あたたかいまちを作りましょう。  
※落書きは単なるいたずらではなく、「器物損壊罪」などに該当する犯罪です

心ない落書きで傷ついている人がいます



梶田 真由美 係長  
(かじた・まゆみ)

Profile

平成24年度から人権・男女共同推進課 啓発・推進係長を務める。誰もが安心して暮らせ、元気のあるまちの実現のため、街頭啓発活動や人権講演会などの啓発事業を行っている。



外国人

登山をすると、見知らぬ人同士がすれ違っても優しい声であいさつを交わします。これは山登り独特の光景です。ではなぜ、いつも出会っている隣近所の外国人とはあいさつや会話をしないのでしょうか。

日本人に、外国人にあいさつしない・話し掛けられない理由を聞いたところ、「日本語で話し掛けても、相手が日本語を理解するかどうか心配」や「外国語を話せないからどう対応したらいいかわからない」と言った声を聞きます。

いつ災害が起きるかは誰にも分かりません。どんなときでも助け合える関係を築く第一歩が、近所付き合いだと思います。まずは近くの外国人に「やさしい日本語」で話しかけてみてください。素敵な友情の花が咲くと思います。

■やさしい日本語

難しい単語や表現を使わない、誰にでも分かりやすい日本語のことです。

例 最寄り駅より徒歩5分  
→一番近い駅から歩いて5分

やさしい日本語



宮島在住の外国人と日本人の交流会。

陳 琳さん  
(ちん・りん)

Profile

平成24年から多文化共生相談員に就任。中国語の相談員として、市役所窓口や小・中学校、保育園での手続きなどの行政サービスの案内や、生活に必要な情報の提供を行っている。



しつけ

「虐待」によって、我が子を傷つけたり、死なせたりして逮捕された親たちの多くが口にする言葉「しつけのつもりだった」。

思うようにならない子どもに対して、自分の怒りをコントロールできずに暴力を振るってしまう。暴言を吐く。無視する。食事を与えない。

そんな親たちに対して子どもは何もできず、ただうずくまっていなければならないのです。

自分では「しつけ」のつもりでも「もしかしてこれって虐待？」と疑ってみてください。

子どもは親の思い通りの行動は取ってくれません。悩むことも多いでしょうが、そんな時は一人で抱え込まず、誰かに話したり、助けを求めたりしてください。

地域の人も「もしかして？」と思ったら「よその家のことに口出しは…」と見て見ぬ振りせず、行政やさまざまな機関に相談してみてください。

子どもは地域の「宝」なのでから。

それって「しつけ」ですか



原 いち代さん  
(はら・いちよ)

Profile

平成6年から主任児童委員として地域の子どもの人権問題に深く関わり、平成16年から人権擁護委員を務めるほか、母子保健推進員、音訳ボランティアなど幅広く活動している。



高齢者

高齢者の人権に関して、国の調査(平成24年8月)によれば、「どのような人権問題が起きていますか」という問いに対する回答の中で最も多いのが、詐欺や悪徳商法などの消費者被害です。

消費者被害は、マスコミ、警察、銀行などによる啓発を行っているにも関わらず、ますます増え続けています。

お金に関するうまい話は詐欺です。私はだまされないという自信は持たないことです。

「必ずもうかる」話を他人に教えるのでしょうか？まずは冷静になって誰かに相談してみてください。

高齢者には周りの人が少しおせっかいになるのがいいのかもしれませんが。

平均寿命が大幅に伸びた日本では、現在人口のほぼ4人に1人が65歳以上の高齢者です。高齢者が安心して暮らせる社会は誰にとっても住みやすい社会です。

高齢者の豊かな知識や知恵の生かせる社会を目指していきましょう。

ときにはおせっかいを



大野7区集会所でのお茶の間サロンの様子。

市里 尚弘さん  
(いちさと・なおひろ)

Profile

平成15年から人権擁護委員としてさまざまな啓発活動を行い、現在甘日市人権擁護委員協議会の副会長を務める。また、串戸地区自治協議会の会長を務めるなど、地域活動も積極的に行っている。

